



もっと

清香会を
知ってほしい
最新TOPICS



PICK UP

Child care

— 子育て支援 —

りとるぱんぷきんずに通う家庭だけではなく、地域の方に向けてさまざまな講座やイベントをおこなっています。



西原りとるぱんぷきんず

『MINI☆SUMMER FESTIVAL』

地域の方に向けてミニ夏祭りを開催しました！

参加した方からのアンケートより...

- ★こうやって年長さんが地域の人と関わることも社会性につながっていいですね！
- ★素敵な企画を開催していただけたことに感謝です！



大塚りとるぱんぷきんず

『おおつか！街と子どもの夏祭り』

天祖神社で紙芝居やミニゲーム*七夕飾り作り



- ★イベントありがとうございました！素敵な作品も持って帰ってきてもらえて楽しい時間を過ごせた様でした。

参加した方からのアンケートより...



千駄ヶ谷りとるぱんぷきんず

『クリスマスリースを作ろう☆』

各園の園庭で育てている植物を使って、親子でおしゃれなリース作り♪



参加した方からのアンケートより...

- ★すてきな香りとおしゃれなリース作りで2時間あっという間でした！！
- とってもかわいいリースができて、家に飾るのが楽しみです☺
- ★子どもも楽しそうに初めてフレッシュリースを触っていい経験が出来た。

column

毎月家庭に配信している園だよりのコラムより...

私には10歳の息子がいます。そして自分に姉が2人いるので20代～30代の甥や姪がいます。そんな中、子育ての環境が時代と共に変化しているなど感じることもありました。

例えば…子どもをおんぶする時、姉の子育ての時は妊婦中に使っていた腹帯でおんぶしていたものが私の時代では簡単におんぶ出来るおんぶ紐になりました。そして今ではお母さんの身体への負担が少なく長時間赤ちゃんを抱っこ出来る抱っこ紐が主流になってきています。子育てが便利になることはとてもいいことですが、物事には裏と表があること。つまり、『便利さの裏には失われていくものもあるかもしれない』ということに意識を向けていきたいものです。

最近町ですれ違う親子を見て思うことは、抱っこ紐のしっかりとした安定感から子どもを包み込む・手を添えるという姿が減ってきたような気がするのです。まだまだスキンシップが大事な時期。必ずしも手を添えて抱っこしなければならないというわけではありませんが、「触れる」機会が減ったことを意識し、日常の中で取り入れてほしいと思います。

他にも便利になったものがあります。それはベビーカーです。押しやすく耐久性に優れたベビーカーも増えました。20kgまでOK！4・5歳でも使えるベビーカーをキャッチフレーズに売り出されているものもあります。

だからと言っていつまでもベビーカーに乗せていてもいいものなのか？歩き始めた子どもは歩きたいと思う気持ちが強く、大人がビックリするほど歩くこともあります。そんな時期はあつという間に過ぎ去り、気持ちを伝えられる時期になると「抱っこ」「疲れた」と言ってベビーカーに乗りたがる子もいます。歩きたい時に歩ける環境をどれだけ作れるか？それが大切な気がします。

我が息子は車で登園していました。子育ての便利の裏側をあまり考えず、歩く機会を減らしてしまっていたのです。そして息子自身も「車がいい」と言うようになってきました。そして迎えた小学校生活。ビックリするような坂道を重いランドセルを背負って学校に行かなければいけません。日頃から自分の荷物を持たせることは意識していたのですが、歩く力が育っていない息子は毎日のように坂道を転げ落ち、膝を怪我しながら帰ってきていました。

お仕事をされている皆さんにとって、子育ての中で便利なものを使うことは悪いことではありません。ただその便利さの裏にある失うものもある。そこに目を向け、補っていくことも意識してほしいのです。また、時にはあえて不便さを選ぶことを意識し、そこで育つことにも目を向けてみませんか？不便さから学び、自立出来る大人になってほしいと思います。

Training

よりよい保育おこなっていくために...

Team Building

— 職員研修 —



◆園庭のハーブを使って...

日頃から園内にある植物を保育の中で活用しています。しかし、本当に植物のことを考えるからこそ「ここ切っているかな？」と不安になることもあります。そこで植物のプロの先生に研修をお願いして、植物を扱う時の注意点や楽しみ方を教えてもらいました！これからどうやって保育に活かされるのか楽しみです♪



◆チームビルディング

和気あいあいと試行錯誤しながら「マシュマロチャレンジ」に挑戦！パスタ・テープ・マシュマロを使って最も高いタワー作りを目指しました。どうやったら安定するか？高さを出すにはどうしたら良いか？話し合いは大盛り上がり！楽しみながらチームワークを深めることが出来ました。